



トステム株式会社

# リビング建材 ウッディーライン 玄関収納 〈ベースキャビネット〉 取付け説明書

●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲警告

●キャビネットが落下・転倒してけがをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
- ・棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
- ・棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
- ・ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)
- ・必ず棧木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
- ・組立ての際は、接合部・背板溝に付属の接着剤を充てんしてください。充てんされていないと接合部が外れて、キャビネットの落下・地板のたわみの原因となります。又、組立て後は接着剤が硬化するまで(半日以上)養生してください。
- ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×60を指定の本数使用してください。
- ・躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタツキのないことを確認してください。
- ・リフォームなどの場合で棧木位置が石こうボードなどで確認できない場合は、石こうボードをはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は、柱・間柱に釘などで棧木を取付けてください。

## ▲注意

●扉の取付けの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因になります。

## ■取付け上のお願

- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、扉の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが傷損するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱灯付近には取付けないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。

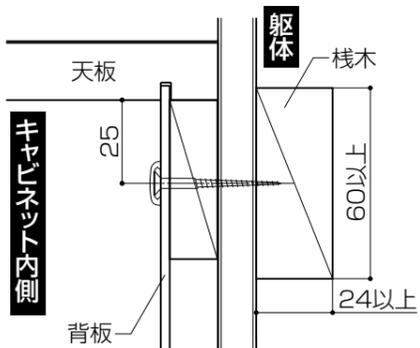
## ■部材部品一覧表

	部材・部品名	数量			
		740B(890B)	1185B(1335B)	1480B(1780B)	
部材	①側板	2	2	2	
	②中仕切り	—	1	1	
	③カウンター	1	1	1	
	④地板	1	1	1	
	⑤背板	1	2	2	
	⑥棚板/W413	—	4(4)	—	
	棚板/W708	4	4	8	
	棚板/W858	(4)	(4)	(8)	
	背板芯材	1	2	2	
キャビネット 部品	棚ダボ		16	32	32
	キャビネット連結ねじφ3.5×27(黒)		10	13	13
	躯体取付けねじφ3.8×60		3	5	5
	接着剤		1	1	1
	丁番座		4	6	8
	丁番カップ		4	6	8
	戸当たり取付けねじφ3.5×16(ブロンズ)		1	1	2
	穴かくしキャップ		—	4	—
	扉梱包(2枚入り) 部材	扉/左吊り元	2枚入り/1梱包	1	1
扉/右吊り元		1		1	2
扉梱包(1枚入り) 部材	扉/左右兼用	1枚入り/1梱包	—	1	—

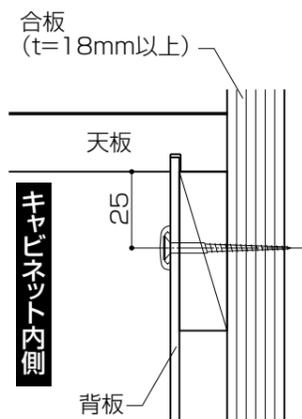


■A部詳細図

【栈木の場合】

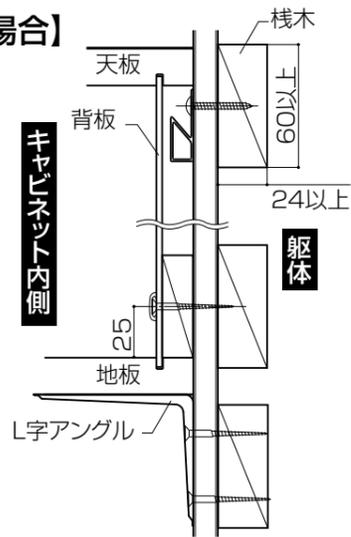


【合板の場合】

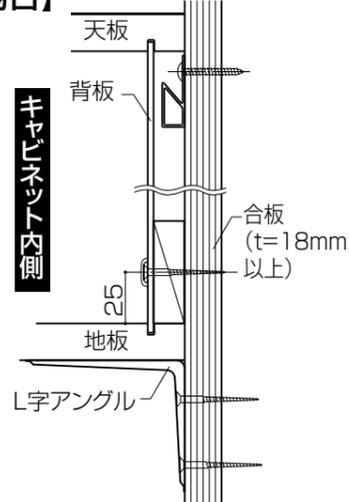


■B部詳細図

【栈木の場合】



【合板の場合】



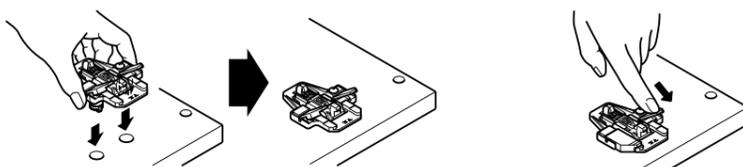
■組立て順序

1 丁番座の取付け

1 丁番座の取付け

※左右勝手は、組立て時の中仕切りの取付け位置（丁番座の取付け位置）により選択できます。（1185B・1335B）  
 ※部材はキャビネット内側がグレー、外側が木目です。

- ①丁番座を側板・中仕切りの加工穴に差し込みます。 ②黒レバーをおろして丁番座を固定します。



2 キャビネットの組立て

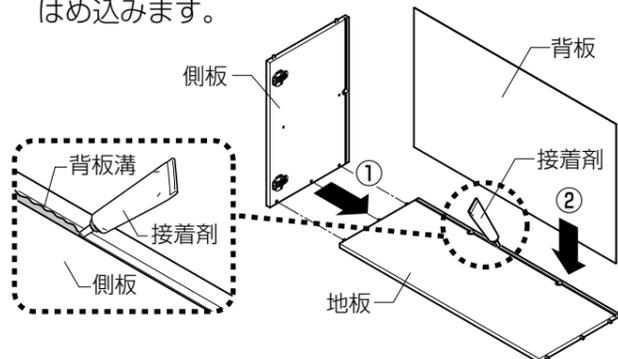
▲警告

●接合部には、必ず接着剤を充てんしてください。キャビネットの強度が出ず、キャビネットの脱落の原因になります。

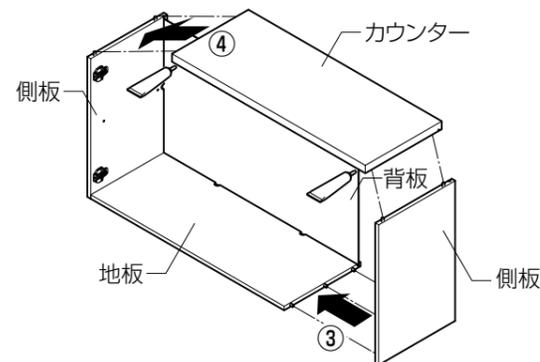
お願い  
 ※背板が背板溝に入っていることを確認してください。

2 キャビネットの組立て  
 【740・890の場合】

- ①側板のダボ穴に接着剤を充てんし、地板にはめ込みます。  
 ②側板・地板の背板溝に接着剤を充てんし、背板をはめ込みます。

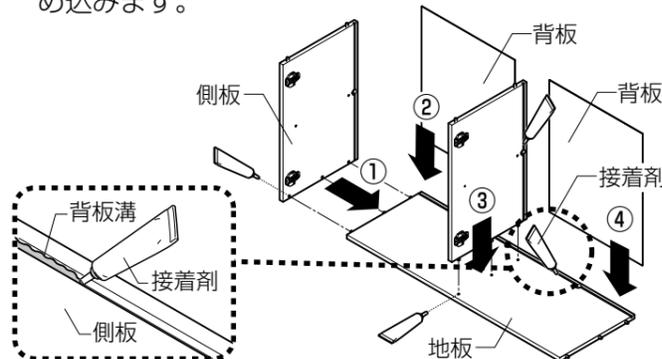


- ③もう一方の側板のダボ穴・背板溝に接着剤を充てんし、側板をはめ込みます。  
 ④カウンターのダボ穴、背板溝に接着剤を充てんし、カウンターをはめ込みます。 手順⑦へ

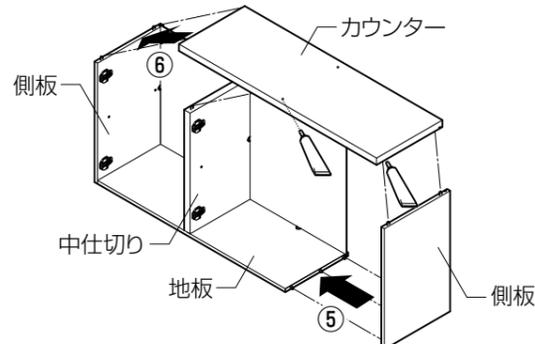


【1185・1335・1480・1780の場合】

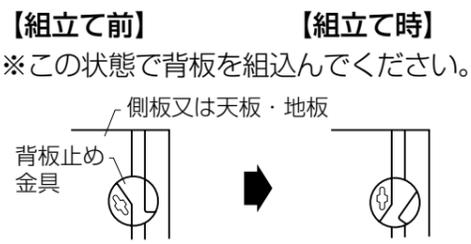
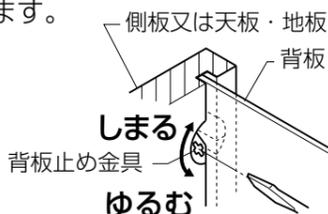
- ①側板のダボ穴に接着剤を充てんし、地板にはめ込みます。  
 ②側板・地板の背板溝に接着剤を充てんし、背板をはめ込みます。  
 ③地板のダボ穴に接着剤を充てんし、中仕切りをはめ込みます。



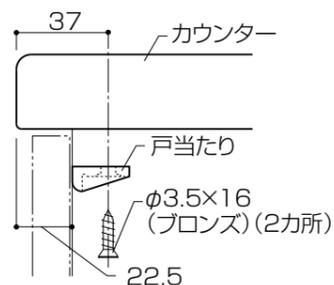
- ④中仕切り・地板の背板溝に接着剤を充てんし、もう一方の背板をはめ込みます。  
 ⑤もう一方の側板のダボ穴に接着剤を充てんし、地板にはめ込みます。  
 ⑥カウンターのダボ穴に接着剤を充てんし、側板・中仕切りにはめ込みます。



- ⑦背板止め金具を固定します。  
 キャビネットの対角・垂直を確認した後、背板止め金具を締付けます。  
 ※マイナスドライバーで、右回りに締付けます。



- ⑧カウンターに戸当たりを取付けます。



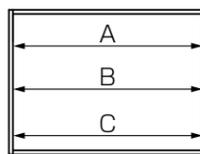
### 3 組立後の確認

### 3 組立後の確認

- キャビネットの水平・対角・垂直方向の内法寸法が、それぞれ等しいことを確認してください。
- ※寸法の確認は接着剤硬化前に行い、寸法が異なる場合は「⑦背板止め金具の固定」をやり直して調整してください。

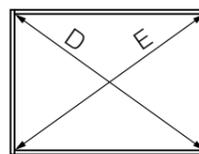
#### 【水平方向】

$A=B=C$



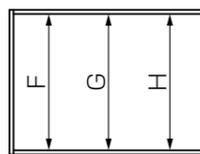
#### 【対角方向】

$D=E$



#### 【垂直方向】

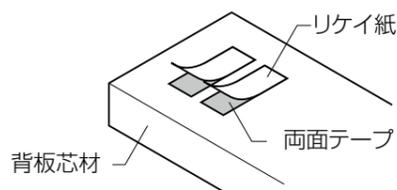
$F=G=H$



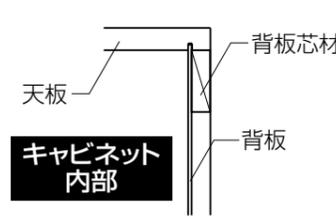
### 4 背板芯材の取付け

### 4 背板芯材の取付け

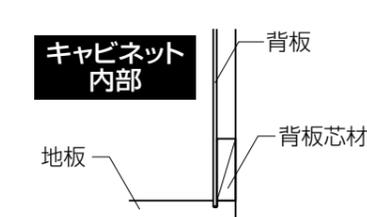
- 背板芯材に付いている両面テープのリケイ紙をはがして、背板に仮止めします。



#### 【台輪納まりの場合】



#### 【フロート納まりの場合】

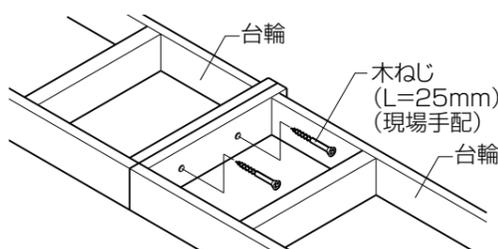


## ■キャビネット取付け順序（台輪納まりの場合）

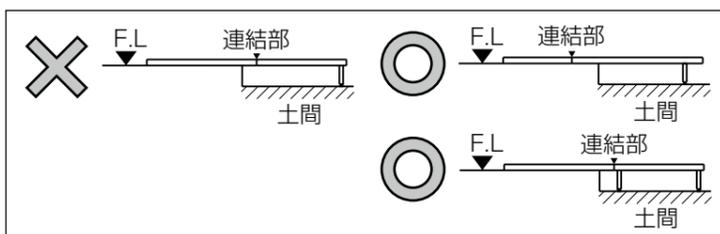
### 1 台輪の設置

### 1 台輪の設置

- 据付け場所に台輪を置きます。
- ※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじ（L=25mm）で連結してください。



- ※連結部は、床にかかるようにしてください。
- やむを得ずかからない場合は、脚を4本使用し、市販のボルト・ナットでガタツキがないよう、台輪を連結してください。



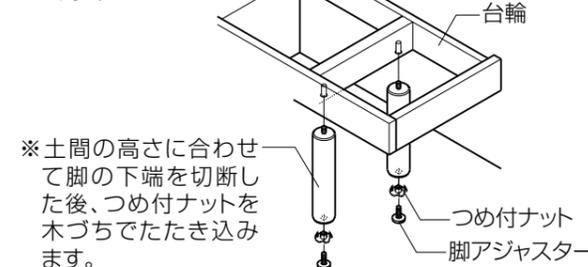
- ※台輪を土間に直置きする場合は、水切りのため、アジャスターで10mm以上浮かせてください。

- ※1335以上の台輪を使用し、土間に2/3以上かかる場合は、追加脚セット（別売品）を使用し、脚を4本設置してください。



- ※台輪の脚の切断可能範囲は、最大100mmです。

- ※アジャスターの調整範囲は10mm～20mmです。



### 2 壁面への固定

#### 警告

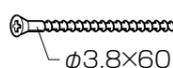
- 取付けねじは必ず桟木又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。

### 2 壁面への固定

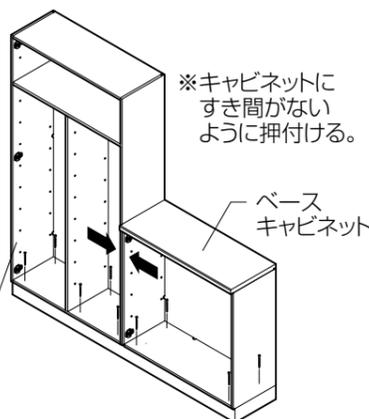
- ※水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定してください。

- ①キャビネットとキャビネットにすき間がないように押付けます。
- ②キャビネット前面・側面を揃え、躯体取付けねじ（φ3.8×60）で固定します。

#### ■躯体取付けねじ

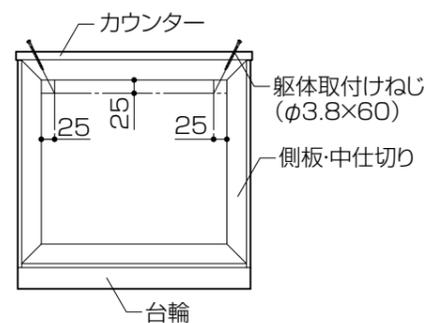


ツール  
キャビネット



- ※キャビネットにすき間がないように押付ける。

#### ■壁面固定位置

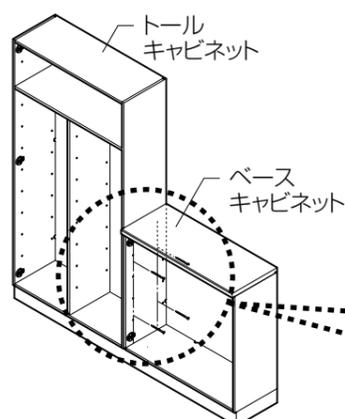


### 3 台輪への固定

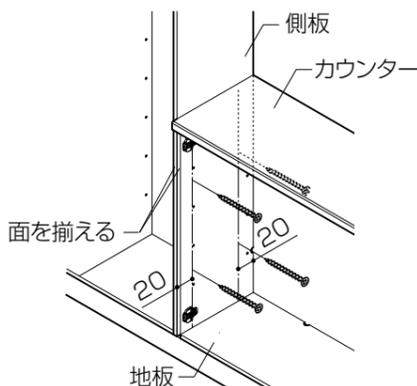
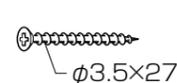
### 3 台輪への固定

#### 【各キャビネットの連結】

- キャビネットの側板前面を揃え、連結ねじ（φ3.5×27：黒）で連結します。

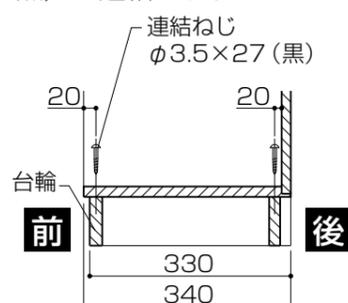


#### ■連結ねじ（黒）



#### 【台輪とキャビネットの連結】

- キャビネットの側板前面を揃え、連結ねじ（φ3.5×27：黒）で連結します。

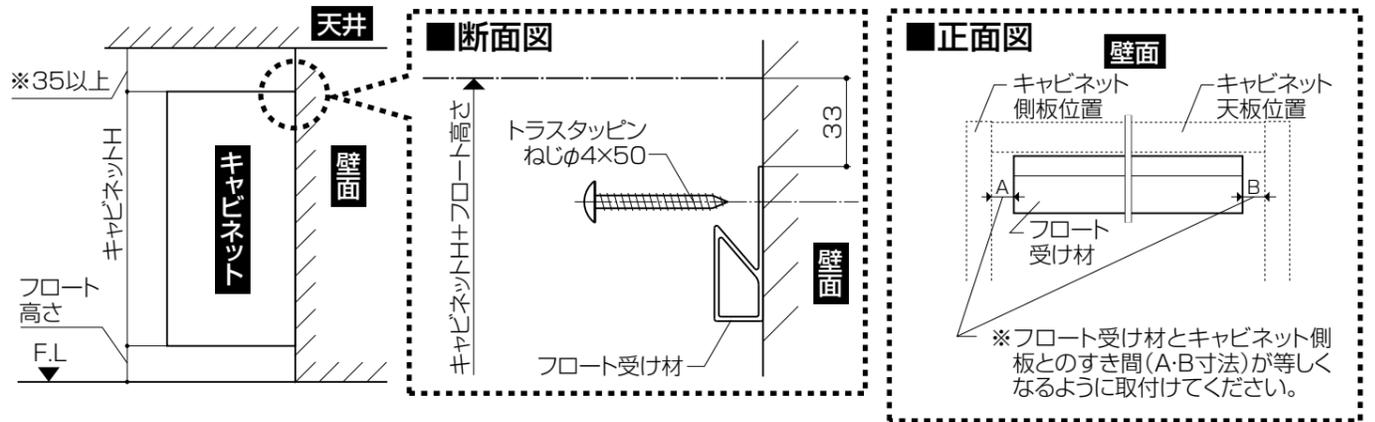


## ■キャビネット取付け順序（フロート納まりの場合）

### 1 フロート受け材の設置

### 1 フロート受け材の設置

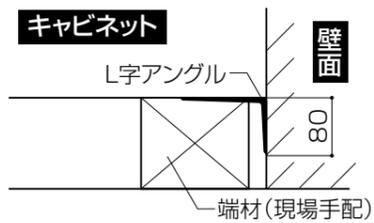
●収納セットのプランを確認し、壁面（躯体）にフロート受け材を同梱のねじ（トラスタッピンねじφ4×50）で取付けます。  
※キャビネット上部と天井、造作材との間は35mm以上空けてください。キャビネットの建付けができなくなります。



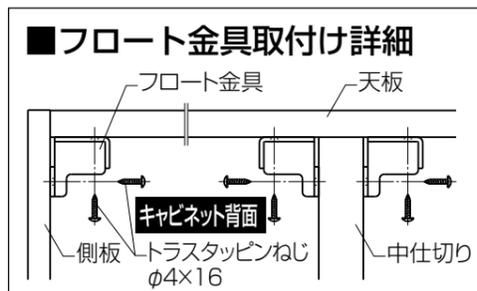
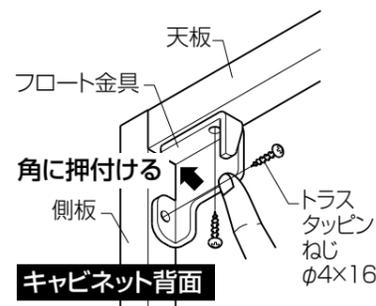
### 2 キャビネット吊込み

### 2 キャビネット吊込み

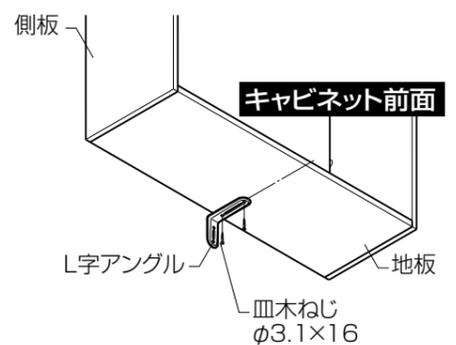
●お願い  
※フロート金具と側板、又は中仕切り、天板、背板にすき間がないように取付けてください。すき間があると、キャビネットと壁面とのすき間の原因となります。  
※必ず手回しドライバー又は、クラッチ付ドライバーで取付けてください。部材が割れる原因となります。  
※キャビネットを床に仮置きする場合、L字アングルが折れるのを防ぐため、キャビネットの下に端材を敷いてください。（高さ100mm以上）



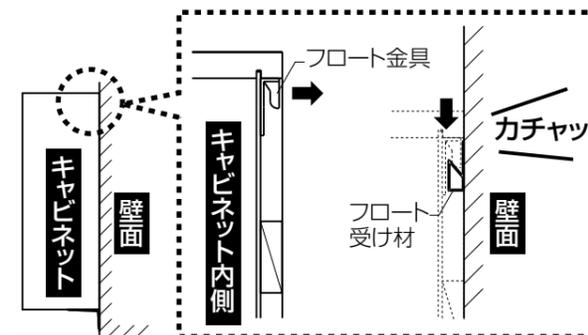
①キャビネットにフロート金具を、同梱のねじ（トラスタッピンねじφ4×16）で取付けます。（キャビネット背面）



②キャビネットの地板に、L字アングルを同梱のねじ（皿木ねじφ3.1×16）で取付けます。



③フロート受け材にキャビネットを吊込みます。  
キャビネットを水平に壁に当て、ゆっくり下ろします。  
キャビネットと壁面にすき間ができないようにしてください。



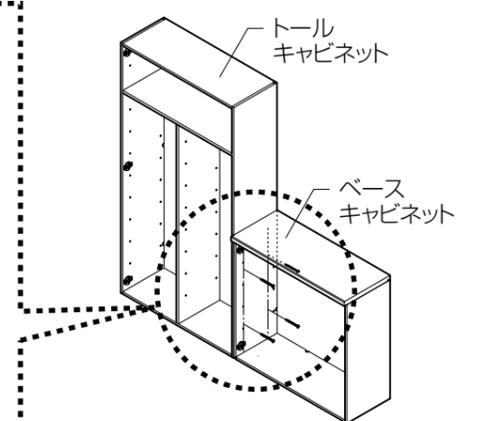
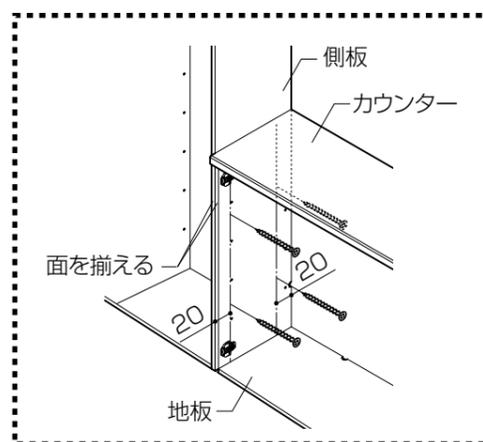
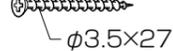
「カチャッ」と音がすれば吊込み完了です。  
※吊込み後、キャビネットを左右にゆらし、フロート受け材とフロート金具にガタツキがないかを確認してください。

### 3 キャビネットの左右連結

### 3 キャビネットの左右連結

●キャビネットの側板前面を揃え、連結ねじ（φ3.5×27：黒）で連結します。

#### ■連結ねじ（黒）



### 4 壁面への固定

### 4 壁面への固定

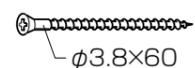
#### ▲警告

●取付けねじは必ず桧木又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。

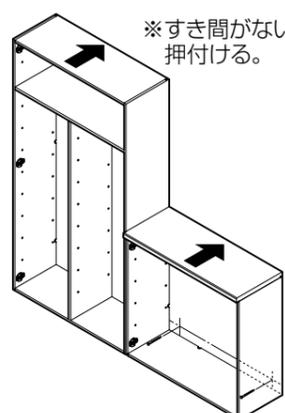
※水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定してください。

①キャビネットと壁面にすき間がないように押付けます。  
②キャビネット前面を揃え、躯体取付けねじ（φ3.8×60）で固定します。

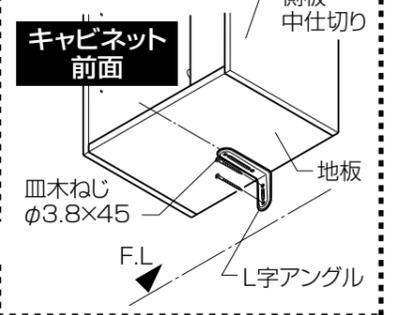
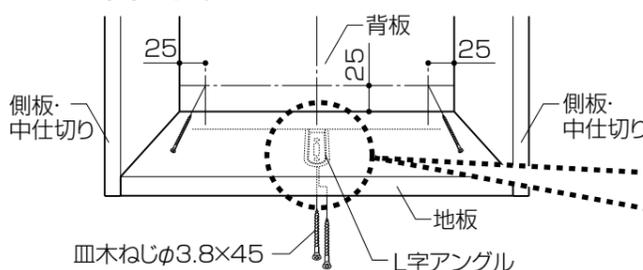
#### ■躯体取付けねじ



※すき間がないように押付ける。



#### ■壁面固定位置



## 扉の取付け順序

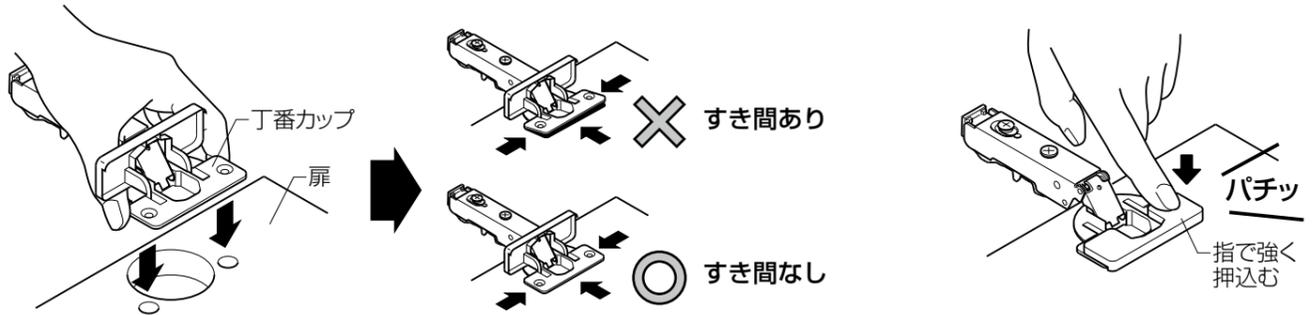
### 1 丁番カップ取付け

※開口調整材・小引出し取付け時は、先に「オプション部品の取付け」を参照してください。

### 1 丁番カップ取付け

①丁番カップのカバーを90°に開いて、扉の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。  
※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。

②扉と丁番カップにすき間がないことを確認したら、「パチッ」という音でカバーを強く押込んでください。



### 2 把手の取付け

お願い.....  
※当て木をしないで穴を開けると、シートがめくれる原因となります。

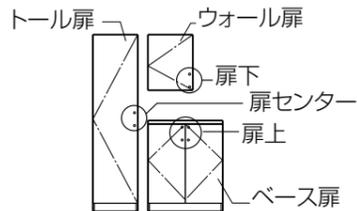
### 2 把手の取付け

①左右勝手の確認を行います。  
※445ウォール・445ベース扉は、現場で把手穴加工をすることで左右勝手を決めます。

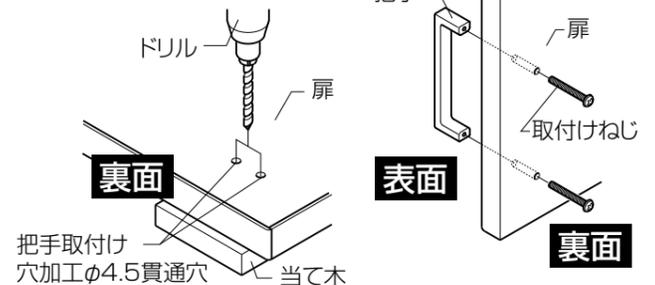
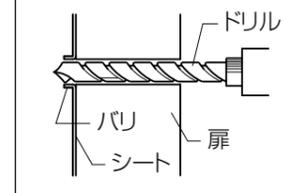
②把手取付け穴を開けます。(445ウォール・445ベース扉のみ)  
※バリ防止のため、扉表側に必ず当て木をしてください。

③把手を同梱のねじで取付けます。

#### ■把手穴位置



#### ■バリ部拡大図



### 3 扉の取付け

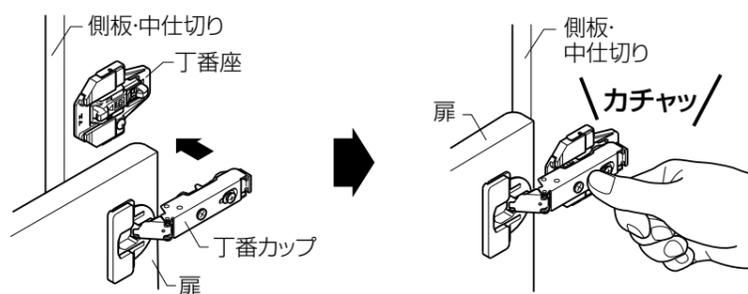
#### ▲注意

●扉をキャビネットに取付ける際は、丁番カップが「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

※扉の取付け後、3回程開閉を行い、丁番カップがきちっと取付いているか必ず確認してください。

### 3 扉の取付け

●丁番カップを丁番座にはめ込みます。



#### ※扉の取外し方法

●扉を外す際は、丁番カップの黒いスイッチを押してください。



### 4 扉の調整

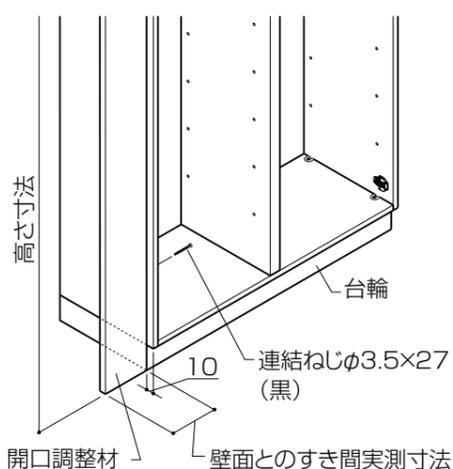
### 4 扉の調整

前後調整	左右調整	上下調整
<p>調整範囲/3mm (2mm/前方 1mm/後方)</p> <p>側板・中仕切り 扉 引出す 押込む 前後調整ねじをゆるめる</p> <p>※調整後、調整ねじを必ず締め直してください。</p>	<p>調整範囲/±2mm</p> <p>側板・中仕切り 扉 左回し 右回し 左右調整ねじをゆるめる</p> <p>※調整範囲を超えてねじ込まないでください。</p>	<p>調整範囲/±1.5mm</p> <p>側板・中仕切り 扉 丁番座の上下調整ねじをゆるめる</p> <p>※調整後、調整ねじを必ず締め直してください。</p>

## オプション部品の取付け

### ■開口調整材

①実測寸法に基づいて化粧板を加工します。  
②台輪と面一に合せて取付けます。

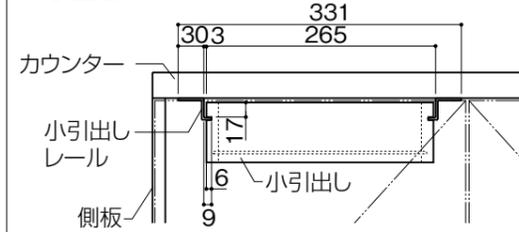


### ■小引出し

①カウンター裏面のお好きな位置に付属のねじで取付けます。  
②レールの後部が背板に付くように取付けてください。

#### ■小引出し取付け詳細

##### ●正面図



##### ●側面図

